

生活者 通信

生活と政治をつなぐ情報紙

No.414
2026.3.1

東京・生活者ネットワーク

発行 東京・生活者ネットワーク
〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町2-19-13 ASKビル4・5階
TEL.03-3200-9189 FAX.03-3200-9274
Eメール tokyo@seikatsusha.net
URL https://www.seikatsusha.me
発行責任者 山内玲子
定価 年間1000円・1部100円 郵便振替口座 00130-3-18417
毎月1回1日発行 1994年5月23日第三種郵便物認可



生活者ネットワーク3つのルール

1 議員は交代制(ローテーション)

生活者ネットワークの議員は、交代制。議員を職業化、特権化せず、世代交代を進めることで参加の層を広げます。任期を終えた議員は、市民政治を広げるための活動や地域活動などに、その経験を活かします。

2

議員報酬は市民の政治活動資金に

生活者ネットワークの活動はカンパで支えられています。議員報酬は、市民の政治活動資金に活かします。お金の流れは公開し、政治資金の透明化をはかっています。

3

選挙はカンパとボランティアで

選挙は、政治に参加する入り口です。みんなでカンパ(カンパ)と知恵や労力(ボランティア)を出し合い、選挙を行います。

都政情報

■都議会第1回定例会開催中。常任委員会：3月2日、3日、16日～19日。中途議決：3月5日。予算特別委員会(若永やす代も質問します)：3月9日、12日、13日、24日、25日。

地域ネット

清瀬ネット

生活のお困りごとご相談ください(毎月第3日曜日)
3月15日(日) 14:00～16:00 清瀬・生活者ネットワーク事務所(清瀬駅/清瀬市元町1-7-21クルトア201) 家計相談員が対応 無料・秘密厳守 介護のご相談もどうぞ 042-494-8720

品川ネット

みんなで学ぼう! 憲法連続学習会
第1回 3月18日(水) 18:00～19:30 オンライン学習会(ZOOM) 明日の自由を守る若手弁護士との会作成の憲法動画を視聴し意見交換/
第2回 4月18日(土) 14:00～16:30 きゅりあん5階第3講習室(大井町駅) 講師:金子匡良さん(法政大学教授)/第3回 5月23日(土) 14:00～16:30 緑が丘文化会館本館201(自由が丘駅) 講師:南部義典さん(国民投票総研代表) 第1回:無料、第2回・第3回:各500円 子ども・学生無料 主催:憲法を学ぶ実行委員会 kenpomnabu345@gmail.com

練馬ネット

「戦争はしない・原発はいらない」9条スタンディング(毎月9日)
4月9日(木) 12:00～13:00 練馬駅南口(西武池袋線、都営大江戸線) 主催:生活者ネット9条の会 03-3993-4899

葛飾ネット

なんでも相談会(毎月10日)
4月10日(金) 10:00～12:00 葛飾・生活者ネットワーク事務所(京成高砂駅/葛飾区高砂8-21-1) 暮らしのお困りごと、福祉や介護、医療のちょっと聞きたいこと、議会のことも 03-5876-4757

生活者ネットワークは東京都内32の自治体にあり、都議1人、市・区議38人の女性議員とともにそれぞれの地域課題に取り組むと同時に、市や区をこえた「東京問題」には全体で取り組んでいます。
東京を生活のまち、安心・共生・自治のまちにするために発言を続けます。



東京・生活者ネット 2026新春のついでに講演する、山田正彦さん。1月26日

山田正彦

さんに
聞く

どうする!?! 食と農業のこれから

2024年から2025年に起きた「米不足」と「価格高騰」は、米を主食とする私たちの暮らしに大きな影響を与えた。25年産米が出回れば「米騒動」が収束すると思いきや、1年以上経過した現在でも米の価格は高いまま。「令和の米騒動」の原因は何だったのか。不安定な食料供給に陥らないためのあるべき農業政策は何か。元農林水産大臣で弁護士山田正彦さんに聞いた。

農水省の統計資料を見ると、すでに2021年から主食用米の生産量が消費量を下回っており、その差が年々拡大していることがわかる。2023年は生産量661万トンに対して消費量が705万トンと約40万トンの需給ギャップが生じている。

減反政策から脱却し、 自立分散型の食料備蓄を

高温の影響やカメムシの発生によって精米時に2～3%のくず米が生じ、実際に流通できる量が減ったことも生産量の減少につながったとされるが、否、農水省が作況指数を見誤ったのではないかと山田さんは指摘。私たちは長らく「米あまり」と思われてきたのではないかと、臍に落ちる。必要としない農業だった。ところが、戦後、日本は米国の圧力によって米国の余剰農産物である小麦と大豆を低関税で輸入することになったことで、国内の農家は採算がとれず生産をやめざるを得ない事態に。さらに、1995年から始まったミニマムアクセス米の導入で毎年77万トンの外国産米を輸入、そのために国産米の生産量を減らさなければならず、以て、農地の原則4割を減反する政策が続いてきた。その結果が「令和の米騒動」なのである。

記録的な高温やゲリラ豪雨など近年の異常気象による農産物の不作、戦争勃発などによって輸送が止まった場合、日本では7200万人が餓死する恐れがあるとともいわれる。

中国は国民の1年半分の食料を備蓄しているが、日本の備蓄は高々1カ月半分。スイスでは憲法に食料安全保障条項を盛り込み、有事の際でも必要な物資を国民に提供できるよう予防的な措置をとると定めている。日本も食料

はむろんエネルギーを含め備蓄が必要だと山田さんは指摘する。生産者の所得補償と就業支援で持続可能な農業へ

「若い人の6割は何らかの形で農業に従事したいと考えている」との調査報告がある(2022年トラストバンク地域創生ラボ)。しかし、現在の農家の収益は他産業に比べ著しく低く、時間当たり所得は63円という状況にある(新聞「農民」2025年5月26日)。

欧州では農家収入の約90%、米国では約40%が国からの所得補償(補助金)による。日本で2011年に戸別所得補償を実施して、農家の所得が1年間で17%上がった実績がある。また、農地を取得しやすいうように農地法こそを規制緩和する、新規就農者が自立できるまでの5年間15万円/月を支給する、など就農人口を増やす政策も必要だ。

農地には、食料供給だけでなく、洪水や土砂崩壊などを防止する防災、水質浄化や景観形成、生物多様性などの環境保全、教育など多面的な機能がある。農地の保全と農業は私たちの生命保持と直結する問題であり、持続可能な農業のための政策転換に挑戦していかなければ、と実感した学びの場となった。



練馬・生活者ネットワーク区議会議員 やない克子

第51回衆議院議員選挙の結果を受けて

今回の衆院選では、高市首相の高支持を自民党の支持拡大に変換する「高市旋風」が起り、自民党と日本維新の会の与党が定数の4分の3の議席を獲得し大勝した。他方、突然の解散表明を受けて、立憲民主党と公明党の衆議院議員により急遽結成された「中道改革連合(中道と略)」は選挙前の議席の3分の1を下回る大敗を喫した。高市首相は明確で強い言葉を発したが、政策の具体的内容は語られず「争点なき選挙」であった。今後、国会での経済政策、社会保障政策、外交政策等の政策論争が必要であり、高市首相が「国論を二分するような政策」とする安保政策の抜本的強化、インテリジェンス機能の強化、憲法改正の議論には、野党の批判的議論が不可欠である。

自民党は無党派層でも、若い層を含め全年齢層でもトップの票を獲得した。SNSにおける自民党の有料広告の効果も大きい。自民党は小選挙区で2771万票、49%の得票で、小選挙区の議席の86%を獲得できた。小選挙区優位の制度効果は極端なものであり、死に票が多すぎる。民意の反映の観点から選挙制度の見直しと共に、与党に圧倒的に有利に使われている解散権の問題が議論される必要がある。女性議員は議席の14.6%にすぎない。

2024年衆院選、2025年参院選により自公政権は少数政権となったが、他方、野党は多党化し、立憲民主党を軸にした野党共闘・選挙協力により自民主導政権に代わる選択肢を準備できない状況が明確になっていた。つまり、現行の選挙制度の下で「政権交代のある政党システム」を作るとい目標は限界に来てい



東京・生活者ネットワークが推薦した、中道改革連合・東京6区の落合貴之さん(世田谷・生活者ネットが応援した)

た。この状況の突破口としての新党結成であったが、中道は党名の意味を明確に説明できず、「争っていた党の合流」のイメージを払拭できず、共同代表や政策面で新奇さを打ち出せず、野党間の選挙協力もできず、若い層や無党派層に伝わらなかった。だが、中道は比例区1043万票18%、小選挙区1220万票21%を獲得した。この新党に投じられた有権者の票に応えるために、中道が新代表の下で女性や若手が前面に出る組織体制を作り、熟議に基づく具体的な政策の提案をするという選択肢もあり、新たな政党再編もありうる。

このような不透明な状況であっても、地域における市民活動のより一層の活性化、生活者ネットワークのような地域政党による不断の政策づくりが、新たな動きの良き基盤になろう。



坪郷 貴 早稲田大学名誉教授

Information

講演 海鳴りの島から 沖縄戦から81年の今……

3月21日(土) 15:30～ YCC代々木八幡コミュニティセンターホール(代々木八幡駅)
講演:目取真俊(めどるま・ゆん)(小説家) 500円 沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック
090-3910-4140 https://www.jca.apc.org/HHK/

講座 武蔵野の見えない自然

3月29日(日) 15:30～17:30 武蔵野プレイス4階フォーラム(武蔵境駅) 上映:佐藤浩一制作「武蔵野の流水」/講演:諸永裕司「PFAS汚染は終わったのか?」(公財)武蔵野文化生涯学習事業団 問い合わせ:0422-30-1903 (武蔵野プレイス市民活動カウンター)

水俣病70年記念講演会 命は美しい。

4月4日(土) 12:30～16:00 東京国際フォーラムホールB7(有楽町駅、東京駅) 講演:
緒方正人、加賀田清子、杉本肇 歌唱:米良美一 ライブ:やうちプラザーズ 司会:森達也
入場料(録画配信とも):一般=当日2600円、前売2000円/30歳以下=当日1500円、前売
1000円 水俣フォーラム 03-3208-3051 メールmf1997@minamata-f.com https://
npo.minamata-f.com/

2026衆院選
東京・生活者ネットワーク推薦候補の
選挙結果

東京・生活者ネットワークは、第51回衆議院議員選挙にあたり、次に掲げる6項目について「政策協定」をかわし、候補者の推薦を決定。850億という巨費が投じられる大義なき解散、総選挙であるが、私たちは、劣化が止まらない政治の現状を打開するチャンス、日本の平和主義を軽んじ国家主義へと邁進する高市政権にNO!をつきつける場面とらえ選挙戦に臨んだ。が、結果は高市自民党政権の圧勝に終わり、危機感はいや増す事態となっている。

ともにたたかった推薦候補のうち、当選を果たした候補は2人とどまったが、私たち東京・生活者ネットワークは、結果を批判的、かつ真摯に受け止めるとともに、議席を得た推薦議員やおおぜいの市民とつながり、ローカル発!政治を変える新たな歩み始める所存である。

政策

- 1.憲法にのっとり、平和主義、国民主権、基本的人権を尊重する
- 1.脱炭素、再生可能エネルギー政策を推進し、原発に依存しない社会をつくる
- 1.食料自給率を上げる
- 1.地方自治を確立する
- 1.女性議員を増やし、ジェンダー主流化を推進する
- 1.社会保障を充実させる

第51回衆議院選挙 推薦候補の結果

2026年2月8日投票

東京1区	海江田万里	前9期/中道改革連合	落選
東京3区	阿部祐美子	前1期/中道改革連合	落選
東京5区	手塚仁雄	前6期/中道改革連合	落選
東京6区	落合貴之	前4期/中道改革連合	当選/比例復活
東京7区	松尾明弘	前2期/中道改革連合	落選
東京8区	吉田晴美	前2期/中道改革連合	落選
東京9区	山岸一生	前2期/中道改革連合	落選
東京10区	鈴木庸介	前2期/中道改革連合	落選
東京11区	阿久津幸彦	前5期/中道改革連合	落選
東京14区	榎川万里	前3期/れいわ新選組	落選
東京15区	酒井菜摘	前2期/中道改革連合	落選
東京16区	柴田勝之	前1期/中道改革連合	落選
東京18区	松下玲子	前1期/中道改革連合	落選
東京19区	末松義規	前8期/中道改革連合	落選
東京21区	鈴木 烈	新/中道改革連合	落選
東京23区	伊藤俊輔	前3期/中道改革連合	落選
東京24区	細貝 悠	新/中道改革連合	落選
東京25区	依田花蓮	新/中道改革連合	落選
東京27区	長妻 昭	前9期/中道改革連合	当選/比例復活
東京28区	高松智之	前1期/中道改革連合	落選
東京29区	木村剛司	元1期/中道改革連合	落選
東京30区	五十嵐衣里	前1期/中道改革連	落選

町田生活者ネットワーク代表 渡部真実

編集後記/東京ネット事務所至近、街路樹に混じって2、3株。ロウバイ(=繡梅)の花開く時節がやってきた。原産の中国では、ウメ・ツバキ・スイセンとともに、ロウバイは「雪中四花」の一つとされる。春は名のみ、寒空に凛と咲くそれに励まされることしきりなのである。(加藤)

都議会REPORT

東京都健康安全研究センターを視察

東京・生活者ネットワーク都議会議員
岩永やす代 [国分寺市・国立市]



健康被害を未然防止する現場へ

1月16日、東京都健康安全研究センター(新宿区)を視察しました。同センターは、1949年に都立衛生研究所として創設され、再編を重ねながら都民の生命と健康を「未然防止」の視点で守る拠点です。



会議室で説明を受ける視察メンバー。センター内は危機管理のため写真撮影禁止となっている

ここでは、食品衛生、薬品・化粧品、有害化学物質など環境衛生、感染症など多岐にわたる分野での検査、研究、指導、情報発信を行っています。岩永やす代は、生活者ネットワークが取り組み続けている食の安全の観点で、地域ネットワークや生活クラブ生協メンバーらとヒアリングを行い、厚生委員会での質疑を経て、視察にもつなげました。

センター内の各ラボで、残留農薬、添加物、放射性物質、細菌等の有無や基準値をそれぞれ検査している様子を見ることができました。サンプリングによる持ち帰り検査も多く、十分な人材と機器の整備ができる予算の確保が必要と見えます。



センター入口にて、左から4人目が岩永やす代。ほか目黒区議増茂しのぶ、練馬区議山崎まりも、多摩市議岸田めぐみらも参加。1月16日

さまざまな方向から食の安全を監視

生活者目線での提案をこれからも

センター業務には、国の関連法だけでなく、東京都食品安全条例や消費生活条例を根拠とした検査や報告もあります。ゲノム編集やPFAS、香害など新たな課題の研究はこれからであり、今後も予防原則・未然防止の視点で、消費者の立場からしくみづくりにこだわっていきます。

日野・町田市議選!

日野▼白井なおこ3期目当選
町田▼笹倉みどり2期目当選



生活者ネットワークが挑戦する、本年初の地方議会選挙となった日野市議選、町田市議選が、ともに2月8日告示/2月15日投票の日程で執行された。衆議院選挙と重なり積雪が観測されるなかでの選挙戦であったが、日野ネット、町田ネットとも現職3期目(日野・白井なおこ)、現職2期目(町田・笹倉みどり)の議席を確保、自由・人権・平和を基盤に置くり、ベール勢力が縮小する現在(いま)であればなおさら、地方政治のありよう、重要性が高まっている。暮らしに一番身近な政策決定の場、地方議会に、市民の代弁者を送り続けてきた生活者ネットワークの出番であると自任し、役割を果たしていく。

日野 白井なおこ 新しい選挙に挑戦

今回は初めて選挙カーを使わない選挙にチャレンジしました。公共交通機関や自転車、徒歩で移動し、CO2と公費助成費用を削減。各地で白井なおこ応援チームのメンバーが駆けつけて、声援を送ってくれました。道行く市民一人ひとりに声を届けることができた。

これまで議席を確保してきた政党的候補が落選し、新たな政党の候補が当選するなど構図が変わる中で、生活者ネットワークは地道な活動の成果を示すことができ、白井なおこは3期目当選を果たすことができました。



市民応援チームとともに活動できたことや、道ゆく若い方より「政策に共感する」とお声をかけていただいたり、これまでにない手応えを感じることができました。選挙は運動、市民自治を広げていく機会です。日野市議会については、初代議員の頃は1割、40年かけて約半分が女性議員に、ファーストベンチンとしてのネットらしさを大切に3期目に臨みます。(白井なおこ)

日野市議会議員選挙
2026年2月15日投票
白井菜穂子 現 1943票 18位 当選
定数24 立候補者37 投票率45.54%

町田 笹倉みどり 4000票を固め再選

町田市議会議員選挙
2026年2月15日投票
笹倉みどり 現 4085票 17位 当選
定数36 立候補者50 投票率47.26%